

月報 シオン山

2021年8月1日発行 (No371)

日本バプテストシオン山教会

☎803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

Tel(093)561-0772 Fax(093)561-0760 E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

【月間聖句】

兄弟たち、喜びなさい。完全な者になりなさい

励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。

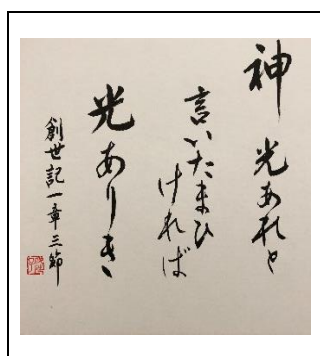
平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神が

あなたがたと共にいてくださいます。

(コリントの信徒への手紙二 13章11節)

聖句に励まされて

小田ひかり



これは2021年のイースター記念として、豊前教会の宮本隆子姉からプレゼントされた色紙です。希望聖句をリクエストして良いとのことで、お願いして文語体で書いていただきました。この聖句は私の名前に関わりがあるからだけではなく、「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。」というヨハネ福音書1章1節と共に、

自分にとって大切な聖句だからです。

高校教師をしていた頃、クラスの終礼拝で司会の生徒達が好んだのもこの聖句（口語訳で『神は「光あれ」と言われた。すると光があった』）でした。担任教師の名前を大いに意識して、しかも短い聖句なので皆覚えてしまい、聖書を開けずに言えるので礼拝が短く終わると考えて選んだのでしょう。このことに少しひっかりながらも、私はこの聖句を大事にしてほしいと考えました。そして「『光』の部分に『自分の名前』を入れてこの聖句を覚えて」と、言うことにしていました。勿論天地創造の大きな内容を持つ聖句ですが、もっと身近なこととして、自分は神様からの「存在しなさい」という言葉によって生まれたという基本的なことを知って、その大きなご計画や深い愛を考えながら過ごして行って欲しいと願ったからです。そして、何よりも自分にとって大切な聖句となりました。

以前、ある先生が「私は困難の時には、歩きながら足の動きのリズムに合わせて『イ・マヌ・エル・ア・マン』と何度もつぶやきます、すると勇気が出てくるのです」と言われました。「主が我々と共におられる」はよく知られている言葉ですが、ただ聖書の中や頭にとどめているだけでなく、口に出して音にすることで、確かに力強く励まされると思います。このように短くて心に届く聖句を持っていることは大変幸せです。

実際には「いつも聖句に生かされています」とは、なかなか言えない自分です。しかし今になって考えると「あの時私は本当に守られていた。あの恵みには主の大きな力を感じざるを得ない。あの聖句から大きな励ましをいただいた。」ということが数多くあったことは事実で、その事に心から感謝します。そしてその感謝する対象が明確であることは、今更ながら私にとって大きな恵みに他なりません。